

5月4日、5日開催予定「アジアから問われる戦争展・2021」

開催延期についてのお知らせ

2021年4月21日

日本中国友好協会大阪府連合会

4月19日、「アジアから問われる戦争展・2021」実行委員会が開催され、5月4日、5日開催予定の戦争展を延期することが決定されました。リアル参加の18団体、リモート参加の4団体の全てが発言したうえで、実行委員会全体で確認されたものです。

日中友好協会大阪府連合会は、パネル展示「長谷川テルの生涯」および長谷川テルを主人公とする日中合作ドラマ「望郷の星」上映を目指し、同室で展示する「反戦・国際戦士伊田助男とともに」グループともども、この時点でほぼ準備を整えておりました。しかし他団体と同様、ゴールデンウィーク開催を中止し、しかるべき時期に延期して開催することを、以下の理由をあげて主張しました。

1. 政府と大阪府・大阪市がPCR検査や必要な隔離、強力なコロナ医療体制構築を怠ってきた結果、コロナ「変異株」にともなう感染拡大に歯止めがかからず、「大阪は災害レベルの異常事態」（大阪府健康衛生部長談）下にあること
2. 重症者数が元々収容力の小さな重症病床数を超え、実質的に医療崩壊をきたし、国と全国自治体に看護師派遣を求めざるをえない事態にあること
3. 開催に向けて徹底した感染予防策を検討してきたが、会場までの移動等、現在の状況下では完璧な感染予防は難しく、感染拡大を抑えるための社会的な責任と役割を考慮すべき局面にあること

期待を寄せていただいている皆さまには大変残念なお知らせとなりますが、ご理解のうえ周りの皆様にもお伝え下さいますようお願い申し上げます。「アジアから問われる戦争展・2021」に賛同し、展示と上映に取り組んでこられたすべての団体と力を合わせて、改めて適切な時期の開催に向けて努力するとともに、それに至る前にも可能な形式と規模をもって、加害と被害の全史追跡と不再戦・平和の実践をみなさまの力をいただきながら進めて参りたいと存じます。

以上